

【2011年12月21日発行】

---

---

■ 厚生省人事労務マガジン／別刊第62号 ■

---

---

---

在宅ワークシンポジウム「震災を超えて ～見直される多様な働き方～」を開催  
～ 平成24年1月16日 東京・文京シビックホールにて ～

---

在宅ワークとは、パソコンなどを使い、請負契約に基づき、サービスの提供などを行う在宅での仕事をいいます。育児や家事、介護など個人の事情に合わせて柔軟に働く時間や場所を調整できるため、仕事と生活の調和が可能な働き方です。

一方、企業経営者の皆さまにとっても、東日本大震災での経験を踏まえ、交通機関や電話回線の乱れた中での事業継続という点で、在宅ワークの利点を認識された方も多いのではないのでしょうか。

このたび、厚生労働省は、企業の経営者、在宅ワーカーはじめ在宅ワークに興味をお持ちの全ての方を対象に、在宅ワークの今後の可能性について考えるシンポジウムを開催します。

[企画・運営：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社]

<在宅ワークシンポジウム「震災を超えて ～見直される多様な働き方～」>

○開催日時：平成24年1月16日（月）午後1時00分～4時30分

○会場：文京シビックホール（小ホール） 東京都文京区春日1-16-21

シンポジウムでは、株式会社イー・ウーマン 代表取締役社長の佐々木かをり氏による基調講演のほか、東日本大震災の経験を受けて、在宅ワークの今後の可能性についてパネルディスカッションを行います。

在宅ワーカーとして働きたい方にとっては、在宅で働く利点や今後の在宅ワークの可能性を、企業経営者の皆さまにとっては、在宅ワーカーへの発注の利点を実感していただける、またとない機会です。ぜひ、ご参加ください。

○プログラム

第1部：基調講演 ～ 多様な働き方と在宅ワークの可能性 ～

佐々木かをり氏（株式会社イー・ウーマン 代表取締役社長）

第2部：パネルディスカッション ～ これからの在宅ワークを考える ～

モデレーター：鎌田耕一氏（東洋大学 教授）

パネリスト：会田和子氏

（株式会社いわきテレワークセンター 代表取締役社長）

伊藤正樹氏

（エヌ・ティ・ティ・コム チェオ株式会社 取締役）ほか

終了後、交流会（名刺交換会）を行います。

参加は無料（定員 200 名、申し込みが必要）です。

#### 【シンポジウムお申し込み】

（在宅ワークに関する総合支援サイト「ホームワーカーズウェブ」内）

<http://www.homeworkers.jp/symposium/2011.html>

なお、参加希望者が定員に達した場合は、申し込みを締め切らせていただきます。  
あらかじめご了承ください。

★配信停止の手続き <https://krs.bz/roumu/m?f=8>

★バックナンバー <http://merumaga.mhlw.go.jp/backnumber/index.html>

★登録に関するお問い合わせ <https://krs.bz/roumu/m?f=11>

★メルマガの内容に関するお問い合わせ（厚生省ホームページ「国民の皆様の声」  
へリンク） <https://www-secure.mhlw.go.jp/getmail/getmail.html>

★注意事項についてはこちらをご覧ください。

<http://merumaga.mhlw.go.jp/>

★編集：厚生労働省

- 当メールマガジンは外部の電子メール配信サービスを利用して行っています。
- 登録していないにも関わらず本メールが配信された場合は、他の方が間違えて登録した可能性がありますので、配信停止の手続きをお願いします。
- 当メールマガジンの送信元アドレスは送信専用となっています。
- 携帯メールなどには対応しておりません。
- 可能であれば等幅フォントにてご覧ください。
- 当メールマガジンの内容の全部または一部については、私的使用または引用など著作権法上認められた行為として、出所を明示することにより引用、転載、複製を行うことができます。

---